

**製品名: TTR マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM81470**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	IHC, ICC, ELISA, FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	IHC 1:200-1:1000, ICC 1:200-1:1000, ELISA 1:5000-1:20000, FC 1:200-1:400
分子量	15.9kDa

**抗原情報**

遺伝子名	TTR
別名	CTS; CTS1; PALB; TBPA; HEL111; HsT2651
遺伝子 ID	7276.0
SwissProt ID	P02766
免疫原	大腸菌で発現したヒト TTR (AA: 1-147) の精製された組み換え断片。

**背景**

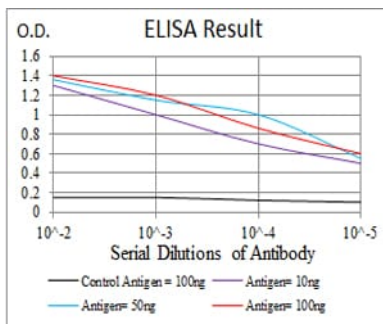
この遺伝子は、 $\alpha$ 1-アンチトリプシン、トランスサイレチン、オロソムコイドを含む3つのプレアルブミンの1つであるトランスサイレチンをコードします。トランスサイレチンはキャリアタンパク質であり、血漿および脳脊髄液中で甲状腺ホルモンを輸送するだけ

でなく、血漿中でレチノール (ビタミン A) を輸送します。このタンパク質は、同一のサブユニットからなる四量体で構成されています。この遺伝子には 80 種類以上の変異が報告されており、そのほとんどはアミロイド沈着に関連しており、主に末梢神経および/または心臓に影響を及ぼします。また、遺伝子変異の一部は非アミロイド形成性です。変異によって引き起こされる疾患には、アミロイドーシス多発神経炎、甲状腺機能正常性高甲状腺ホルモン血症、アミロイドーシス硝子体混濁、心筋症、眼瞼髄膜アミロイドーシス、髄膜脳血管アミロイドーシス、手根管症候群などがある。[RefSeq 提供、2009 年 1 月]

## 研究分野

-

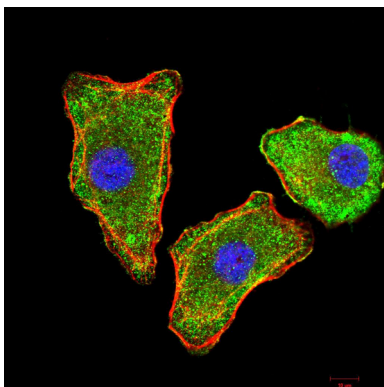
## 画像データ



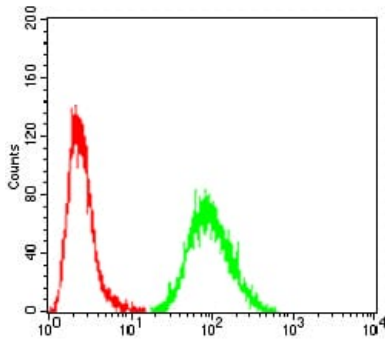
黒線: コントロール抗原 (100 ng); 紫線: 抗原 (10 ng); 青線: 抗原 (50 ng); 赤線: 抗原 (100 ng);



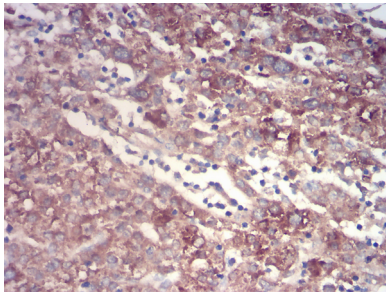
TTR マウス mAb (緑) を用いた A549 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



TTR マウス mAb (緑) を用いた MCF-7 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



TTR マウス mAb (緑) とネガティブコントロール (赤) を使用した A549 細胞のフローサイトメトリー分析。



TTR マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト肝臓癌組織の免疫組織化学分析。